

キャラクター名	プレイヤー名
ベルマ=R・E(ベルマーリィ)	

メインクラス	ウィザード	Lv.1:	メイジ	レベル	14
サポートクラス	サモナー	Lv.1:	サモナー	性別	女
称号クラス				年齢	40
種族	エルダナーン			境遇	平凡
出自(効果)	魔術師			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	8	22	26	17	13	9
ボーナス	4	2	7	8	5	4	3
クラス修正	0	0	0	3	2	2	1
他修正			3	3	3		
能力値	4	2	10	14	10	6	4

HP	105
MP	142
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	おしゃれの盾		0	0	0	3	0	-1	0
左手	おしゃれの盾		0	0	0	3	0	-1	0
頭部	マジカルハット					3			
胴部	メイジローブ					3			
補助	ミスリルマント					5			
装身具	アルストロメリアの花冠			+2d		11	1		
能力値			2	0	10	0	6	20	9
スキル									
その他									
総計(右)			2	0					
総計(左)			2	0	10	28	7	18	9
総計(両)			2	0					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	10			10	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	10			10	+ 2 d
エネミー識別	14			14	+ 2 d
アイテム鑑定	14			14	+ 2 d
魔術判定	14			14	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

現在重量： 4

最大重量： 12 所持金： 341570 預金・借金：

所持品	
グリモア	
グリモア	
ビーシィ	
ディーシィ	
エーシィ	
契約の宝石・無	
動物王の骨	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 作成時に知力基本値+3								
マジシャンズマイト	5	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果： 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
マジックフォージ	3	1シソ	パッシヴ	制限:	自身		1回	
効果： 魔法攻撃のダメージに+[SL×2]d								
サモン：アラクネ	2	9	DR直後	20m	範囲(選択)	自動成功	防衛中1回	
効果： 対象にダメージ軽減、そのダメージに-[SLD]する。								
サモン：フェンリル	★	8	メジャー	20m	範囲(選択)	魔術判定		
効果： 2Dの<無>属性魔法ダメージ、ダメージを与えると[威圧]を与える								
フォースプリンガー	3		パッシヴ		自身			
効果： <無属性>の魔法ダメージに+[SL×4]。								
マジックサークル	3	4	パッシヴ		自身			
効果： 魔術/サモナースキルの効果+[SLd]								
リゼントメント	★		パッシヴ		自身			
効果： 範囲を単体に ダメージ+[10×CLd]								
コンセントレイション	★		パッシヴ		自身			
効果： 常時魔術判定+1d								
グレートサモナー	★		パッシヴ					
効果： 常時サモナー効果+1d								
ファミリア	3		パッシヴ					
効果： 使い魔をSL体取得 1体つき能力値+2								
ガーディアン	★		DL直後			自動成功		
効果： 使い魔を一体失いダメージ-[CL×5]								
ブーストマジック	★				自身			
効果： 魔法攻撃のダメージに感知値追加								
マジックゲイザー	★							
効果： 魔法攻撃+1d								
ファミリアサポート	★							
効果： 使い魔2体以上でサモナー命中+1d								

本名はVelmar=Re・Euphoria (ヴェルマー=リ・ユーフォリア)。手前が名字にあたる。

Velmarの姓は、火の時代に生まれながらさらに古代にあたる水の時代の神々を尊ぶ一族に受け継がれる。少し特殊ではあるものの、その行為を異常な思想と蔑む同族はいない。

Re・Euphoriaの名は、あまりに幸せな年月を過ごしてしまった父と母が我が子にも多幸感の中で生きて欲しいと願い付けたもの。『再びの幸福』を謳う。

本人は姓名の両方を気に入っているため、どちらかで呼ばれることを嫌い、姓名を一度に呼べる『ベルマーリィ』というミドルネームを作った。もともと温厚な種族で寵愛を受け育ったので、喜怒哀楽の怒と哀が著しく欠如している。1人例外を除き丁寧な敬語を使う。

ギルド「星の猫」のメンバーの中で1番の新入り。40歳になって独り立ちし、はじめて森の外の世界に触れる。意気揚々と飛び出したものの行く当てがなかったので、偶然見かけた冒険者の一行に付いていく形でギルドに入った。

ギルドに入った直後は短命種族の行動密度の高さに困惑していたが、最近は少し慣れてきた。森にはない近代的な文化にまだ慣れていないため、知らないことが多いが飲み込みは非常に早い。食べ物の飲み込みも異常に早い。見たことがない甘いお菓子を食べるのが好き。

